

2024年7月18日

岡山県立美術館、RNC 西日本放送、山陽新聞社

岡山県立美術館で「鈴木敏夫とジブリ展」を開催中

全国8か所を巡ってきた「鈴木敏夫とジブリ展」が岡山県立美術館で開催中です。のべ50日間に渡り、ジブリ作品のファンのみならず、幅広い世代の方に興味を持っていただける企画展を実施いたします。

本展では、高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサー鈴木敏夫が、幼少期から今まで時代を駆け続けている中で出会った映画作品や書籍を数多く紹介するとともに、スタジオジブリの誕生秘話や、映画の企画・宣伝の裏側を丁寧に紹介していきます。

また会場内には巨大な湯婆婆と銭婆婆の恋愛・開運おみくじや、鈴木プロデューサーが書いたジブリ作品の「名セリフ」を巨大オブジェにした「吊り文字」など多くのフォトスポットも用意して皆様をお待ちしております。

つきましては、本展の取材及び報道にご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



本展メインビジュアル

© 2022 Hayao Miyazaki/Toshio Suzuki

1 展覧会名

「鈴木敏夫とジブリ展」岡山展

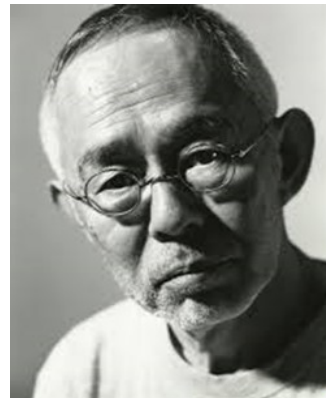
2 内 容

高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出したスタジオジブリのプロデューサー鈴木敏夫。本展では、戦後の名古屋で育ち、昭和、平成、令和の時代を駆け続けている鈴木敏夫が出会った多くの映画作品・書籍とそれを通して見えてくる時代背景に注目しました。

【鈴木敏夫プロフィール】

1948年、名古屋市生まれ。スタジオジブリ・プロデューサー。慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店入社。『アニメージュ』の創刊に参加し、副編集長、編集長を務めるかたわら、高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。1985年にスタジオジブリの設立に参加し、1989年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品をプロデュースする。

スタジオジブリ・プロデューサー
鈴木敏夫
撮影：荒木経惟



PRESS RELEASE

みどころ① 鈴木敏夫の本棚

数々の名作を送り出してきた鈴木プロデューサーのその頭の中を覗いているかのような、凝縮された空間の真ん中で、カオナシが読書中。鈴木プロデューサーの隠れ家・「れんが屋」をモチーフにしたこの部屋は、膨大な量の全集などを並べた本の小路を通ったその先に広がっています。

鈴木プロデューサーのこれまでを形作ったおよそ8,800冊の書籍の中には、実際に手に取って閲覧できるものもご用意しています。

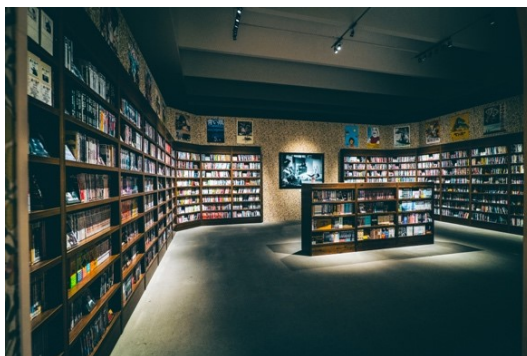
鈴木プロデューサーのコメントとともに楽しみください。



みどころ② 鈴木敏夫の映画コレクション

昨年からの展示として人気を博した約10,000作品の映画コーナー。鈴木プロデューサーの毎朝の日課は、ソファでコーヒーを飲みながら、テレビの番組表の確認。好きな映画、これから観たい映画をチェックして、監督や俳優でまとめています。今回は、そのようにしてコレクションされた映画から手に入るものを集めました。

過去の名作から、隠れた一本まで、映画の歴史もうかがえるコレクションをお楽しみください。



みどころ③ ジブリの世界を感じられる空間

約3mの巨大な湯婆婆、銭婆の口に入れて引く恋愛・開運おみくじや、トトロ達がお出迎えしてくれるコーナーなど映画の世界を感じられる空間も随所にあります。



PRESS RELEASE

イベントニュース

昨日より、「鈴木敏夫とジブリ展」岡山展特別企画として、アニメーション映画の巨匠高畑勲監督（1935～2018年、岡山市出身）が手がけた計12作品がの上映会が岡山県立美術館（同市北区天神町）にてスタート。

今後の上映スケジュールは下記の通り。

上映作品	日程	開演時間	
『太陽の王子 ホルスの大冒険』1968年（約82分）	7月17日（水）	10時～	終了
『パンダコパンダ』1972年（約34分）	7月17日（水）	14時～	終了
『パンダコパンダ 雨降りサーカスの巻』1973年（約38分）	7月18日（木）	10時～	終了
『じゃりン子チエ 劇場版』1981年（約110分）	7月18日（木）	14時～	終了
『ゼロ弾きのゴージュ』1982年（約63分）	7月19日（金）	10時～	
『柳川堀割物語』1987年（約167分）	7月19日（金）	13時～	
『火垂るの墓』1988年（約88分）	7月23日（火）	10時～	
『劇場版 赤毛のアン～グリーンゲブブルズへの道～』1989年（再編集）（約100分）	7月23日（火）	14時～	
『おもひでぼろぼろ』1991年（約119分）	7月24日（水）	10時～	
『平成狸合戦ぽんぽこ』1994年（約119分）	7月24日（水）	14時～	
『ホーホケキョ となりの山田くん』1999年（約104分）	7月25日（木）	10時～	
『かぐや姫の物語』2013年（約137分）	7月25日（木）	14時～	

※事前予約制。申し込みには展覧会チケットの半券が必要です。

※開場は開演の30分前です。

PRESS RELEASE



© 1994 Isao Takahata/Studio Ghibli, NH

PRESS RELEASE

3 会 期

2024年7月9日（火）～9月1日（日）

休館日：7月16日（火）、22日（月）、29日（月）、8月5日（月）、19日（月）

4 開館時間

9:00～17:00 但し7月27日（土）および8月10日（土）以降の土日祝日は19時まで開館。入場は閉館の30分前まで。

5 会 場

岡山県立美術館 地下展示室（岡山市北区天神町8-48）

6 主 催

岡山県立美術館、RNC 西日本放送、山陽新聞社

7 特別協賛

a u（KDDI 株式会社）

8 岡山展 特別協賛

岡山トヨタ

9 特別協力

スタジオジブリ

10 企画協力

ムービック・プロモートサービス、博報堂 DY メディアパートナーズ

11 展示協力

ア・ファクトリー

12 後 援

岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟、一般財団法人岡山県国際交流協会、公益社団法人岡山県観光連盟、おかやま観光コンベンション協会、岡山県図書館協会、岡山県ケーブルテレビ振興協議会、FM 岡山、レディオモモ、JR 西日本

13 観 覧 料

土日祝および8月13日（火）～16日（金）、26日（月）～30日（金）は日時指定予約制です。

前売 1,600円（混雑緩和のため、上記日時指定対象以外の日でご利用いただけます。）

当日 一般 1,800円、中高生 1,500円、小学生 1,000円

- ・未就学児は無料です。団体割引はございません。
- ・障がい者手帳をご持参の方と同伴者1名は無料です。
- ・本展観覧券で岡山の美術展（2階展示室）もご観覧いただけます。ただし、7月13日（土）から8月25日（日）までの期間中のみ開催です。

14 観覧券販売所

ローソン（前売券・日時指定券）、山陽新聞社サービスセンター・山陽新聞販売所（前売券のみ）

期間入場券（日時指定入場対象以外の日程）Lコード：60101

日時指定券（7月13日～8月12日）Lコード：60102

日時指定券（8月13日～9月1日）Lコード：60103

※日時指定券は入場予定日の前々日まで販売します。

※日時指定日当日の観覧券は、予約に空きがある時間帯のみ当館チケット売り場にて販売します。

PRESS RELEASE

15 要旨用短文テキスト

100字

鈴木敏夫はどのように時代を駆け抜けてきたのか。影響を受けた映画作品や書籍、「アニメージュ」の創刊からジブリ誕生秘話、映画の企画・宣伝の裏側まで、豊富な資料で紹介。トトロや湯婆婆などフォトスポットも充実。

50字

数々の世界的アニメ作品を送り出した鈴木敏夫プロデューサーの過去・現在・未来を豊富な資料で紹介する

○交通のご案内

JR 岡山駅後楽園口（東口）から

- 徒歩 15分
- 路面電車：東山行「城下」下車徒歩3分
- 宇野バス：四御神・瀬戸駅・片上方面行
「表町入口」下車徒歩3分
- 岡電バス：藤原団地行「天神町」下車すぐ
- 循環バスめぐりん：益野線「表町入口」
下車徒歩3分



お問い合わせ

岡山県立美術館 〒700-0814 岡山市北区天神町 8-48

担当：橋凜（学芸員）、橋村直樹（主任学芸員）

○ホームページ <https://okayama-kenbi.info>

Eメール kenbi@pref.okayama.lg.jp

○TEL：086-225-4800

○FAX：086-224-0648

PRESS RELEASE

○図版の使用等について

このプレスリリース最終ページに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリまたはメールにてお申し込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
- ・トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度 72dpi 以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館の確認を得てください。
確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、当館までご連絡ください。
来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。
また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌（紙）、媒体（DVD など）、URLなどを当館あてに1部お送りください。

PRESS RELEASE

「鈴木敏夫とジブリ展」

掲載図版 申込書

FAX: 086-224-0648 岡山県立美術館 行

本展覧会の掲載図版をご希望の方は、下記へご記入の上ファクシミリにてご請求ください。

掲載をご希望される画像に✓をしてください。

※本リリース資料の写真素材をご使用・掲載の際には、下記の①～⑥の◎を写真下に必ず掲載ください。

写真を複数使用する場合は、一番下などにまとめて掲載してかまいません。

その際の順番としては、◎2022 Hayao Miyazaki/Toshio Suzuki ◎Studio Ghibli

としてください。

※使用していない画像の◎は掲載しないでください。

※当リリースからの画像使用につきまして、**メインビジュアルは必ず使用してください。**

<p>①</p>  <p>また、会えたね! 鈴木敏夫とジブリ展 2024 7/9 (水) - 9/1 (日) 岡山県立美術館</p>	<p>②</p>  <p>※プロフィールを文章で紹介する際のみご使用ください。</p>	<p>③</p> 
<p><input type="checkbox"/> ◎2022 Hayao Miyazaki/Toshio Suzuki</p>	<p><input type="checkbox"/> スタジオジブリ・プロデューサー 鈴木敏夫 撮影：荒木経惟</p>	<p><input type="checkbox"/> ◎Hayao Miyazaki</p>
<p>④</p> 	<p>⑤</p> 	<p>⑥</p> 
<p><input type="checkbox"/> ◎Studio ghibli</p>	<p><input type="checkbox"/> ◎Hayao Miyazaki</p>	<p><input type="checkbox"/> ◎Hayao Miyazaki</p>

必ずご記入ください⇒ 貴社名 _____ TEL _____

媒体種類 _____ 貴誌（紙）名／媒体名 _____ ご担当者様お名前 _____

仕様／サイズ _____ 色（フルカラーなど） _____ 発行数 _____

掲出期間／発行日 _____ 配布／掲出先 _____

メールアドレス（画像データ送付先） _____

ご要望事項（サイズ・解像度など） _____